

令和 6 年度 学校自己評価結果

学校法人札幌青葉学園

札幌青葉鍼灸柔整専門学校

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4 3 2 1	本校は、「医療従事者として必要な専門的知識・技能・態度（心）のすべてを身に付け、良質で安全な医療を提供することができる優れた高度専門職業人の育成」を目標としている。
②	学校における職業教育の特色が表れているか	4 3 2 1	本校の特徴である臨床教育を充実させるため、より実技および実習の豊富な時間設定をするなど、実践的な教育内容となるカリキュラムを組んでいる。さらに、鍼灸および柔道整復とそれぞれの特色を伝えるために、両学科の交流授業を実施している。
③	社会及び鍼灸・柔整界のニーズに合っているか	4 3 2 1	鍼灸師・柔道整復師に対する社会的ニーズの高い分野として、スポーツ・介護・福祉の分野に加え、健康維持・増進、予防医学、美容分野にも着目し、それぞれの領域で必要とされる知識と技術も身につけた上で、優れた人間性を備え、新しい時代における業界のリーダーとなりうる人材の育成を目指している。
④	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保証人に周知されているか	4 3 2 1	本校のホームページおよび学校案内等にて学内外に周知を行っている。さらに、学生に関しては、入学時のオリエンテーションにおいて学生便覧の説明等で周知を図っている。

(2) 学校運営

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	目的に沿った運営方針が策定され、運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1	学校の運営については、学園としての運営方針が理事会で策定され、この方針に沿って各学校における事業計画が作成されている。
②	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。また、有効に機能しているか	4 3 2 1	学校における意思決定機関は「校務運営会議」、情報共有の場として「教職員連絡会」および「各学科会議」が置かれ、月に最低1回実施されている。
③	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1	人事、給与に関する規程は、学校法人札幌青葉学園専任教職員就業規則、学校法人札幌青葉学園給与規程において定められている。
④	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1	学園に置いては理事会を中心とした意思決定システムを整備している。学内では教務運営会議が意思決定機関として機能している。
⑤	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1	ホームページにおける情報公開を行っているが、青葉会（同窓会）や保証人への情報提供は不十分である。今後、保証人説明会の実施、青葉会（同窓会）との連携強化内容などを検討していく。
⑥	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1	学内ネットワークを整備し、学園内クラウドであるグループセッションを活用した情報共有、業務の効率化を実現している。さらに、教務事務システムにより、成績および出席管理を効率的に行っている。

(3) 教育活動

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1	本校の教育理念に沿ってカリキュラムは編成・実施されている。
②	一定の到達レベルを目標とした教育や学習時間の確保がなされているか	4 3 2 1	座学・実技・実習ともに、十分な時間が確保されている。
③	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1	平成 30 年の養成施設指導ガイドライン変更に伴い、カリキュラムは体系的に編成された。
④	医療人の職業教育という視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1	国家試験合格率向上を目指すあまり、医療人としての職業教育を充実させる内容にはなっていない。医療人として、臨床を意識した教育内容となるようにカリキュラムの作成、授業の実施方法などを検討していく必要がある。
⑤	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1	業界団体との連携によるカリキュラムの作成・見直しはあまりできていない。今後、状況を把握して、職業教育のあり方等についても検討していく。
⑥	関連分野における実践的な職業教育（産学連携による実技・実習等）がカリキュラムに組み込まれているか	4 3 2 1	計画的に年 2～3 回の産学連携による職業教育を行っている。今後、職業教育の内容については、業界関係者の意見を聞きつつ検討を重ねていく。
⑦	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1	学生による授業評価を行っており、専任教員および非常勤講師にその結果を個別に報告し、授業内容の改善を図っている。
⑧	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1	学校関係者評価委員会を設け、学校評価を定期的の実施している。第三者評価は実施しておらず、今後の検討事項とする。
⑨	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1	「修学規程」に明記されており、この規程を遵守している。

⑩	国家資格取得に関する指導体制を体系的に明確に位置づけているか	4 3 2 1	授業時間内外で国家試験対策時間を確保して指導にあたっている。
⑪	教育理念、教育目標の達成に向けて、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1	専任教員、非常勤講師ともに授業ができる要件を備えた教員を確保しているが、鍼灸学科については専任教員数が不足している。令和 8 年度には最低限必要な専任教員数を確保し教育の安定化を図っていく。
⑫	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどの取り組みが行われているか	4 3 2 1	各分野で活躍する卒業生、外部講師を招き入れ、講義を実施している。また専任教員については臨床経験豊富な者を積極的に採用して、臨床教育の充実を図っていく。
⑬	関連分野における先端的な知識と技能等を修得するための研修や教員の指導能力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4 3 2 1	外部講師による教員研修を実施しているが、指導能力育成や資質向上のために、研修内容や回数を含め、再検討する必要がある。

(4) 学修成果

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	就職率の向上が図られているか	4 3 2 1	3年生に対して就職希望アンケートを実施しているが、学外における企業説明会に依存しているあまり、就職のサポート体制が整っているとはいえない。学生一人ひとりのニーズを把握して、就職サポートができる体制を整備していく必要がある。
②	国家試験合格率の向上が図られているか	4 3 2 1	全体的な国家試験対策補習授業に加え、「寺子屋」と称する個別指導を実施している。しかし合格率については、鍼灸学科は高いが、柔道整復学科は高いとはいえない。 学生の成熟度を把握して情報共有、それに対する対策を詳細に決めていくというような体制が必要である。
③	退学率の低減が図られているか	4 3 2 1	年度により1年生のうちに退学してしまう者、最終学年の3年生で卒業できずに退学してしまう者と様々である。学生が退学の意向を示したときには、すでに意思が決まっており、面談を実施してもそのまま退学となってしまうことが多い。 退学理由の多くが学業不振であり、金銭的に通学困難となるケースや精神疾患等によるケースもある。 対策としては、日頃の学生の状況を教員全体で把握、情報共有し、定期的な個別面談を行い、必要に応じて保証人への連絡を行い、学生一人ひとりに注意深く対応していく必要がある。
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1	在校生については担任を中心に状況を把握することができているが、卒業生については、状況を把握する体制ができていない。今後、青葉会（同窓会）等を通じた状況把握などの体制を整備していく必要がある。

⑤	卒業後のキャリア形成への成果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 2 1	卒業生の状況を把握する体制ができておらず、開業した者以外の状況を追っていくことが困難である。青葉会（同窓会）と連携して卒業生への研修会等を実施することで、意見を交換できる場を設けていく必要がある。
---	---------------------------------------	------------------	--

(5) 学生支援

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1	進路指導担当教員および担任による個別指導、支援に加え、学内外の企業説明会を実施している。
②	学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1	担任制を整備しており個別面談を実施している。学生生活や学業に関わることなど、様々な悩みに対応している。また、教職員連絡会を通じて情報共有を行っている。
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1	日本学生支援機構の奨学金、外部組織の支援組織、学納金の分割制度を設けている。さらに札幌青葉学園独自の奨学金制度を整備して対象学生に支援を行っている。
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1	学校教育法、学校保健安全法に基づいて、年 1 回の健康診断を実施している。
⑤	保証人と適切に連携しているか	4 3 2 1	学生の状況で注意すべき点が見受けられる際には保証人へ連絡・連携して解決を図っている。 今後、学科・学年全体への「保証人説明会」等の実施を計画し、教育理念、学校生活、国家試験対策などの必要な情報を提供する機会を設けていく。
⑥	卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1	要望があった場合の個別対応のみで、組織的な体制は整っていない。青葉会（同窓会）との連携や卒業生への積極的な情報提供などの体制を整備していく必要がある。
⑦	学生、卒業生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1	学生への面談やアンケートを実施しているが、ニーズを把握しきれていない状況。今後は、学生および卒業生のニーズを把握し、教育環境の整備をしていく必要がある。

(6) 教育環境

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	教室・実習室等は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1	教室・実習室等は教育上の必要性に十分対応している。経年劣化および損傷部など、修繕が必要な箇所は随時補修を行っている。
②	学校外の臨地・臨床実習について、十分な教育体制が整備されているか	4 3 2 1	平成 30 年の養成施設指導ガイドラインの変更により、外部実習が可能となったが、学内実習のみで実施できていない。 今後、外部施設等への臨床実習実施環境を整備していく必要がある。
③	防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1	定期的（年 2 回）に消防設備点検を実施、毎年 6 月には教職員・学生に対する防災・避難訓練を実施している。

(7) 学生募集

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	高等学校等に対し、情報提供が十分であるか	4 3 2 1	高等学校等に対しては、本校の広報職員が資料送付や学生からの報告、高校を訪問にて随時説明を実施している。
②	学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1	学生募集活動は、文部科学省入学者選抜実施要項、北海道専修学校各種学校連合会 A0 入試に関する自主運用基準等に基づき、適正に行われている。
③	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1	ホームページや SNS を通じて情報発信ができており、今後も最新情報を提供し、正確な情報を伝えられるようにしていく。
④	学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1	学納金については、学生募集要項およびホームページに明記されており、材料費、諸経費等についても徴収する旨を提示している。

(8) 財務状況

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1	鍼灸学科と柔道整復学科を合わせて 76 名の入学者を確保している。学生募集の強化を行い、前年度以上に入学者を増やしていく。さらに、退学者数の減少、支出を見直すことで財務基盤の安定化を図っていく。
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1	予算および収支計画は、理事会、評議員会で審議され、作成されている。年度ごとの予算の執行内容は妥当である。
③	財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1	会計監査は、監査法人のもと、公正に適正に実施されている。
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1	学園の財務情報については、ホームページ上の情報公開欄に公開している。

(9) 法令の遵守

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1	専修学校設置基準、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則、柔道整復師に係る学校養成施設指定規則、はり師・きゅう師・柔道整復師養成施設指導ガイドライン等の法令、基準に基づき適正な運営がなされている。
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1	個人情報保護の対策については、教職員間で厳密な管理のもと、情報の共有等を図っている。さらに「学校法人札幌青葉学園個人情報の取扱に関する規程」に則り、個人情報保護の管理を強化している。
③	自己評価の実施と問題点の改善を行い、公表しているか	4 3 2 1	学校自己評価結果および学校関係者評価結果については、ホームページ上の情報公開欄で公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価:適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1	取り組み内容
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1	鍼灸および柔道整復等に関わる講習会等の施設利用については審査の上許可している。また、講師依頼等がある場合には可能な限り要望に添うことにしている。さらに、道内の高校には、本校教員が出前授業を実施している。
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1	全国規模の千歳 JAL 国際マラソンの救護スタッフボランティアに加え、学友会が主体となって本校周辺地域への清掃ボランティアを実施している。
③	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1	毎年、中学生の職業体験学習等の申入れ時には、積極的に受け入れている。 また、公開講座などによる地域貢献は実施していないが、鍼灸師・柔道整復師が得意とする健康講座等の開催について検討しているところである。